

友の会だより

No.74

2024.9

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

THE HEADLINERS 2024

会期：2024年10月12日(土)～2025年1月26日(日)

主催：茨城県陶芸美術館

後援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送

休館日：毎週月曜日、12月29日(日)～1月1日(水)、(祝日が月曜日の場合の翌火曜)

本展では、当館での最新の調査をもとに、日本の現代陶芸の最先端で活躍の幅を広げていこうとする作家19名の表現を紹介します。多様な個性あふれる、新鮮でビビットな陶芸表現をお楽しみください。



▲鯨虎じょう
[918042-T-23,18] 2024年
(個人蔵)



▲丸山 純
[木面人形] 2023年
(個人蔵)



▲岡安 真美
[玉響] 2022年
(個人蔵)



▲今川 朋実
[エミリー・エミリー]
2021年 (個人蔵)

会期中の催事のご案内

* 詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

●アーティストトーク 予約不要、参加費無料 (要企画展観覧料)

①鯨虎じょう×丸山純、10月12日(土) 午後1時30分～、当館地下1階企画展示室

②安藤美樹×天野靖史、11月2日(土) 午後1時30分～、当館地下1階企画展示室

●講演会「ギャラリーの目、美術館の目—時代と併走する眼差し—」

講師：黒元実紗 (GALLERY crossingディレクター) 予約優先90名、参加費無料 (要企画展観覧料)

11月3日(日) 午後1時30分～、当館1階多目的ホール

●ギャラリートーク、講師：名村実和子 (当館副主任学芸員) 予約不要、参加費無料 (要企画展観覧料)

12月14日(土) 午後1時30分～、当館地下1階企画展示室

●気楽者落語会(冬席) 予約不要90名、参加費無料 (要企画展観覧料)

10月19日(土) 午後2時～、当館1階多目的ホール

●呈茶会 要予約/5席、各回予約優先10名、参加費：800円 (入館無料)

11月13日(水) 午前10時30分、午前11時30分、午後1時30分、午後2時30分、午後3時30分
当館地下1階オープンギャラリー

●読み聞かせの会 予約不要30名、参加費無料 (要企画展観覧料)

12月21日(土) 午後2時～、当館地下1階研修室

●つくば美術館土曜講座「現代の陶芸アートシーン—活況あふれる造形表現の世界」

講師：名村実和子 (当館副主任学芸員)

10月26日(土) 午後1時30分～、つくば美術館 (問い合わせ：029-856-3711茨城県つくば美術館)

●茨城県立図書館「茨城県陶芸美術館美術講座」、講師：名村実和子 (当館副主任学芸員)

11月23日(土) 午後1時30分～、茨城県立図書館 (問い合わせ：029-221-5569茨城県立図書館)

(当館ウェブサイト)



茨城県陶芸美術館ウェブサイト <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

にゅう はく じ 乳白瓷を極める

甲斐 孝生 さん

甲斐陶房は、春風萬里荘、田中嘉三記念館が建ち並ぶ落ち着いた雰囲気の漂う住宅街の一角にありました。お話は、自然豊かな庭に設けられたテントで伺いました。



ご出身はどちらですか？

東京です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください

バイクが好きで、日本各地にツーリングに出かけるうちに、「アメリカの雄大な自然の中をツーリングしてみたい！」と思うようになりました。ちょうど、米国留学が必修の学校に進学して短期留学しましたが、いろいろあってそのままアメリカに残ることになりました。大学での専攻はビジネスでしたが、卒業単位のために一般教養として陶芸のクラスをとりました。「ロクロをやってみたい！ぐ

い呑みや徳利を作ってみたい！」そんな安易な発想だったと思います。最初の授業で、初めて粘土を自分で練ってロクロに挑戦してみました。先生が大変驚いて、「信じられない、君は天才だ！」と褒めてくれました。それがもう嬉しくて。手になじむ粘土の感触からも、「これは自分に向いているかも。」と本気で思い、どんどんはまっていきました。最初の1学期間で大抵の物は作れるようになりましたが、「もっと色々な物を作りたい、いろんな粘土や釉薬で試してみたい、磁器にも挑戦したい。」と思いながら、気がついたら卒業単位にならないのに陶芸専攻の人と同様に4年間ですべての陶芸クラスを取ってしまいました。自分が作陶家になるとわかっていれば陶芸専攻に変えたのですけどね（笑）。



作品づくりについてお聞かせください

様々な作品・シリーズを製作していますが、一番多いのは碗です。元々碗の形状が好きで色々なタイプの碗を作りました。碗はご飯やお茶、料理やデザート、スープだけでなく、花を入れて花器にもなるし飾っておくだけでもよいです。私は、碗の中にはやきもののすべてが入っていると思っています、特に好きです。お客様には「色々な使い方をしてみてください」と言っています。オブジェや花器を多く作っていた時よりお客様の声がダイレクトに伝わってきて、私がつくった器がお客様の生活の一部に溶け込んでいるように感じます。「こういう風に使っているよ」「これで食べるご飯がおいしいんだよ」なんて聞くと嬉しくなります。本当にありがたいです。



今後どんなことをやりたいですか

今まで同様、これからも柔軟性を持ちながらどんどん色々なことに挑戦していこうと思っています。私の造語で、乳白瓷（シリーズ）があるのですが、今はこれを深めていきたいと思っています。また、まだ試せていない生地との組み合わせや顔料を用いて、新作に挑戦し、自分自身もそしてお客様にも楽しんでいただける器をつくり続けていきたいです。

プロフィール

1991年 米国コロンビアカレッジ在学中に陶芸をはじめ。

1998年 荒田耕治氏に師事

2003年 甲斐陶房を設立

対談を終えて

コロンビアカレッジで陶芸を始めるという異色の経歴の中から、いろいろなことに好奇心をもち、研究を深めて、作陶されていることが分かりました。現状に甘んじることなく、常に新しい課題を設け、工夫を重ね、納得のいく作品を追求される姿は感動的でした。

主催事業実施報告

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

7月18日(木)および30日(火)の2日間にわたり、講師にマリア・テレサ・ルーディ横田氏をお迎えしてヨーロッパ磁器絵付け講座を開催しました。今年度は「白磁の皿に描く第2弾」でした。18名の参加者は、真剣な面持ちで絵付けを楽しみました。作品は当館ロビーに展示中です。



徐々に仕上がっていきます。

●友の会主催講演会

9月15日(日)に当会理事の飯田義之氏とそば猪口美術館館長岸間健食氏を講師にお迎えして講演会を実施しました。今年度の演題は「一古伊万里そば猪口の文様を絵解き、謎を解く一」でした。53名の聴講者と一緒にそば猪口に描かれた江戸の粋を堪能しました。



参加者の募集

国内研修視察

(※詳細は別紙旅行会社パンフレット参照。会員でない方もご同伴できます)

期 日：令和6年12月3日(火)～5日(木) 2泊3日

方 面：兵庫県丹波篠山市 他

募集人数：先着40名(最少遂行人数15名)

費 用：約13万円(空港までの交通費は含みません。
また、参加人数により費用の変更があります。
※介助が必要な方のお申し込みはご遠慮
ください。

日帰り研修視察

(会員でない方もご同伴できます)

期 日：令和7年1月30日(木)

方 面：東京芸術大学美術館(卒業・終了作品展
見学)

※展覧会の関係で目的地が変更になる
ことがあります。

募集人数：先着20名(最少遂行人数15名)

費 用：昼食代として約3,000円。予定変更によ
り、入館料が発生することがあります。

そ の 他：現地(東京上野公園)集合・解散です。

申込方法：12月25日(水)までに電話(0296-70-0011)

またはファックス(0296-70-0012)にて陶
芸美術館友の会までお申し込み下さい。

※参加者決定後詳細についてご連絡します。

※介助が必要な方のお申し込みはご遠慮
ください。

呈茶会

(会員でない方も参加できます)

日 時：11月13日(水・茨城県民の日) 10:30、
11:30、13:30、14:30、15:30

会 場：茨城県陶芸美術館地下1階オープンギャ
ラリー

募集人数：各席先着10名、予約優先

参 加 費：800円

席 主：永地宗栄氏(裏千家)

予 約：会員の方10月24日(木)～11月12日(火)

一般の方11月3日(日)～11月12日(火)
茨城県陶芸美術館友の会(電話0296-70-
0011)まで。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ		陶芸館	0296-72-6650
笠間工芸の丘	0296-70-1313	東風舎	0296-72-5205
笠間みんげい	0296-72-9280	無限堂	0296-72-1695
かつら陶芸	0296-72-6688	やまさき陶苑	0296-72-6865
ギャラリー桜	0296-72-0803	涼	0296-72-0712
ギャラリー舞台	0296-73-0700	ミュージアムショップ（館内）	0296-72-7105
● 9月28日（土）～10月14日（月祝）	大野香織展	レストラン「風の丘」（館内）	0296-72-0197
● 11月2日（土）～11月10日（日）	櫻井理人・あゆみ 二人展	各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。（一部除外品があります。）笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。	
● 11月16日（土）～11月24日（日）	小山義則 - 土鍋展		
● 11月30日（土）～12月15日（日）	藤原里子・典子 二人展 一陶と染織		
● 10月11日（金）～10月20日（日）	岩本倫子 作陶展		
● 10月22日（火）～11月4日（日）	駒澤博司 作陶展	茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。	
● 11月6日（火）～11月17日（日）	花の器展		
● 1月1日（水）～1月13日（月祝）	陶雛展		
● 1月28日（火）～2月9日（日）	栗原節夫・高橋勝宏 二人展		
向山窯	0296-72-0194	一般会員：年会費3,000円 家族会員（※同居家族2人に限る）：年会費（2人で）5,000円 特典1 常設展が、何度でも無料で観覧できます。 特典2 企画展が年2回まで無料で観覧できます。 特典3 会報の無料配付（年3回）を受けられます。 特典4 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。 特典5 友の会主催の各種事業に参加できます。 お問い合わせは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。 茨城県陶芸美術館友の会事務局（茨城県陶芸美術館内）	
丹野陶房	0296-72-4028		

編集後記

猛暑の夏を無事乗り越え、錦秋の秋を愛でる季節を迎えます。パリ開催のオリンピックを楽しんだ日々が懐かしく思われます。地震、台風など常に災害と隣り合わせの生活の中で、自然の移ろい、日本の四季がいつまでも保たれることを願っています。新しい編集委員さんを迎え、気持ちも新たに、会員のみなさまに楽しんでいただける記事をお届けしたいと思っています。

友の会だより No.74

発行：令和6年9月28日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345（茨城県陶芸美術館内）
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小薬 和子 鈴木 充 佐藤 誠